

■令和6年度以降の管工事施工管理技術検定試験問題の見直しについて

- ・ 第一次検定：第二次検定の所要実務経験年数を学歴に拘わらず一定とすることから、1級と2級の第一次検定問題において、管工事施工管理に必要な工学基礎知識を確認できるようにする。
- ・ 第二次検定：1級と2級の第二次検定において、工程管理、安全管理の設問を必須とする。また、受検者自身の経験に基づかない解答を防ぐ観点から、経験に基づく解答を求める設問をとりやめ、空調・衛生の施工に関する選択問題において、経験で得られた知識・知見を幅広い視点から確認するものとして見直しを行う。

※受検の公平性の観点から、試験問題に関する問い合わせはお受けできません。